

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 2 年 2 月 26 日

事業所名 ワクワクひろば

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9		・調整して狭さや職員の人数不足などに対応していると思う。	
	②	職員の配置数は適切である	8		(未記入 1) ・調整して狭さや職員の人数不足などに対応していると思う。 ・極まれに不足していると感じる時があった。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	1	・整理の仕方を写真で示し、どの場所に片付けるか分かりやすくしている。 ・トイレが大人用のものしかなく、補助便座をすれば用を足せるが、高さが子どもにはやや高く使いづらい様子がある。	・大人用の便座でも座りやすいように、足を置ける大きめの台の設置・購入を検討していく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	1	・水拭きや塩素、アルコールなどで清潔にしている。 ・掃除が行き届いていないところがある	・職員一人ひとりが、より細かな所まで整理整頓を心がけていく。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8	1		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8		(未記入 1)	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2	(未記入 2)	今後検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9			

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9				
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1	(未記入 1)	・標準化されたものではないが、保護者からの情報もまとめやすくした独自のアセスメントシートを使用している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8		(未記入 1) ・月 1 回のケース会議を通じて、職員間で利用児の現状を共有し、支援内容の方向性を検討している。		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9		・4 月の入所時には、落ち着かなかつたり、パニックを起こしていた子どもが、スタッフや他の子どもたちと楽しく活動できるようになってきた。子どもに合った支援がなされている。		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		・毎日、朝礼や終礼で、今後行う予定の活動や計画を話し合っている。		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9				
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9				
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		・短時間でも、隙間の時間を利用してマメに行われていると思います。		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9		毎回支援終了時に打ち合わせを行い、一人一人担当者が気づいたこと、保護者からの話を報告し合い、情報を共有するようにしている。		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9				
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9				
	関係機関や保護	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		(未記入 1)	
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8		(未記入 1)	

者との連携	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4		(未記入 5) ・該当児なし		
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3		(未記入 6) ・わからない ・該当児なし		
	関係機関や保護者との連携	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		(未記入 1) ・保育所等訪問支援を開始し、密な支援関係を築けるように図っている。 ・卒園後のフォローアップの集まりなども計画実施されている。	
		㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		(未記入 2) ・資料で伝えたり、必要に応じて見学にきてもらい情報共有や理解を図っている。	
		㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8		(未記入 1) ・関係機関とのやり取りをきちんと行われていると思う。	
		㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	7	2	・具体的な交流会等を催している分けでないが、保育所や幼稚園、認定こども園との併用利用を認めている。	
保護者への説明責任等	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6		(未記入 3)		
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		直接のやり取りだけでなく、毎日連絡帳を利用して情報交換を行ったり、必要に応じて電話連絡をしている。		
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	9		全 8 回のペアレントトレーニングプログラムを、年 2 回実施している。		
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9				
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8		(未記入 1)		

保護者への説明責任等	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		連絡帳を介しての助言や、必要に応じて面談の時間を設けるようにしている。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8		(未記入 1) ・年 3 回、保護者会を実施している。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9		・月 1 回お便りを発行したり、NPO 全体の会報を発行したりしている。 ・玄関前にちらしやパンフレットを自由に手に取れるようにしている。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	8		(未記入 1)	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			
非常時等の対応	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	5	(未記入 2)	・今年度は機会が無かったが、クリスマス会などの親子行事に近隣短大の人形劇サークルを招いたり、アニマルセラピーをお願いしたりしている。今後、行事などで地域の方々と協力して楽しめるものも、可能な範囲で検討していきたい。
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8		(未記入 1)	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		(未記入 1) ・定期的に避難訓練(火事・地震)を実施している。 第 2 避難所までの避難訓練も行っている。	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9		・急な服薬にも対応できるように「服薬連絡票」を記入してもらおうようにしている。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9			

非常時等の対応	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		(未記入 1) ・ケガへの対応、し いかりしていると思 うが、遊具や危険 なものに近づかな いような配慮(未 然に防ぐ)がより必 要と思う。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		(未記入 1) ・2月に外部講師 を招き、虐待の内 部研修を予定して いる。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		(未記入 4)	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。